

総会特集

**2021.9
No. 156**

あきた建築士会ニュース



八峰町 峰浜ポンポコこども園

一般社団法人 秋田県建築士会

峰浜ポンポコこども園

能代山本建築士会
設計チーム木協同組合

【全体コンセプト】

白神山地の麓、平野と台地が連続する広大な農村地帯に位置する。老朽化した2つの保育園を統合した新たな町立の子ども園である。

山、川、海と自然豊かな環境の中で、園舎もまた周囲の景観と調和した木々の温もりが優しく包み込むような雰囲気とし、園児が四季折々の自然と共にのびのびと成長できるような地場産材を多用した「木造園舎」とした。



目 次

会 長 挨 拶		2
定時会員総会	令和3年度定時会員総会が開催されました.....	3
総 会 式 典	会長式辞..... 一般社団法人 秋田県建築士会 会長 淡 路 孝 次…	4
	式典祝辞..... 秋田県建設部建築住宅課長 中 野 賢 俊…	5
役 員 紹 介		6
功 労 者 表 彰	令和3年度通常総会会長表彰者紹介.....	10
新入会員紹介	新入会員からのメッセージ.....	14
活 動 報 告	まちづくり委員会の設置について.....	16
	第10回東北ブロック青年大会 岩手大会 ～みらいをつくる～（の舞台裏）.....	19
	令和2年度全国青年委員長会議 開催報告.....	21
	女性委員会事業報告.....	23
	女性委員会 第1回学習会 「ミニ縁起風・ミニ纏制作」に参加して	24
投 稿 だ よ り	秋田県の中の湯沢市 2021 『まちづくり温故知新』	26
会 務 報 告		29
地域会だより		31
事務局だより	建築士定期講習のお知らせ.....	35
	第64回建築士会全国大会あきた大会について 他	36
編 集 後 記		42

会長就任にあたり



一般社団法人 秋田県建築士会会長 淡 路 孝 次

秋田県建築士会会長として3期目になりますが、早くもというのが実感です。

1期目、前会長の敷いたレールからはみ出さないよう、なぞることで精一杯でありました。2期目、連合会理事として視点を広く持つこと、そして、連合会での経験を県士会の活動が活性化するように反映させること、そのためには能動的に活動する事が重要であることを学びました。

その根底には一期目より持ち続けている「建築士の地位向上」に貢献したいという思いがあります。

これまで機会あるごとに「建築士の社会的地位向上」を目指していることを私は述べてきました。そのためには、何よりも地域住民や地域行政に地域に住まう建築士がいること、そして、地域の発展を目指して活動している建築士会があることを日々の活動を通して発信し、そのことによる信頼関係の構築が重要と思って活動してまいりました。

現在私は秋田県建築士会会長として(公社)日本建築士会連合会理事・副会長、及び東北ブロック会会長、更には常設委員会である女性委員会と業務保険委員会の担当副会長他いくつかの特別委員会委員を仰せつっております。これらの職務を務めることが、秋田県建築士会会員の皆様の声を代表者として発信することに繋がるものと考え活動しております。

来年には全国大会あきた大会が開催されます。また県士会創立70周年という節目でもあります。この節目を明日へのエネルギーとすべく活動することが3期目の私の務めであり、一期目より持ち続けている「建築士の地位向上」に繋がることであると考えております。

秋田県建築士会活性の為、尽力させていただきますが、それも3期までと決め表明させていただいております。残された任期を精一杯努めますので、皆様の協力をお願いし3期目会長就任にあたりましての決意表明とします。

令和3年度定時会員総会が開催されました

一般社団法人秋田県建築士会の定時会員総会が、令和3年6月30日午後2時30分から秋田市のキャッスルホテルで開催されました。

総会に先立ち淡路孝次会長より『コロナ禍の中、多数の会員の皆様の参加を得て対面にて開催できましたことに、改めて御礼と感謝を申し上げます。また常日頃、建築士会の運営に地域会会長様はじめ会員の皆様から多大な御協力を賜り、心から感謝いたします。本日の総会は、前年度の収支決算承認の件と役員改選時期であることより選任の件を上程し、関連事項を報告させていただいております。来年度のあきた大会を控えた重



要な時期での総会につき、本年度の事業計画にはこれまでの重点施策に加え、全国大会あきた大会についての諸準備の為の施策を内包しております。総会后、臨時理事会が開催され新たな執行部が決まります。新たな執行部については、記念式典にて報告あると思いますが、皆様の御協力の下、闊達な協議の上、会員総意で令和3年度の事業が決定され、秋田県建築士会がより活性すればと思っております。会員の皆様それぞれが、地域住民や地域行政と連携を図り地域貢献に努め、大きく飛躍することを祈念し、令和3年度秋田県建築士会総

会に当たりましてのご挨拶と致します。』との挨拶がありました。

次に、事務局から令和3年4月末現在の正会員数が898名で、このうち出席者が40名、委任状提出者が553名、合計593名で、本日の総会が定足数を満たしていることが報告されました。続いて、秋田中央建築士会の能上崇さんが議長に選出されたほか、議事録署名人に秋田中央建築士会の若松康弘さんと加藤一成さんが選任され議案審議に移りました。

第1号議案の令和2年度事業の収支決算書類の承認の件（会計監査報告含む）と、報告事項である令和2年度の事業報告、令和3年度の事業計画及び収支予算については、それぞれ審議が行われ何れも原案通り承認されました。

また、第2号議案の理事及び監事の選任の件については、任期満了に伴う役員改選のため理事24名、監事3名がそれぞれ新たに選任されました。

総会終了後直ちに臨時理事会が開催され、会長及び副会長等の案件を議題としたところ、淡路孝次理事が全会一致で再任されたほか、副会長3名と専務理事1名を新たに選任いたしました。（※新役員については、別途紹介ページをご覧ください。）

続いて、午後4時から「式典」が開催され、3期目の就任となった淡路会長の式辞の後、9名の方々に永年功労者表彰が授与されたほか、ご来賓としてご案内できませんでしたが、秋田県建設部建築住宅課長の中野賢俊様からご祝辞を頂戴し、工藤博臣理事から紹介させていただきました。

また、あきた大会について、事務局および会場行事委員会の草薙委員長から進捗状況の報告があり、大会概要、ポスター等のデザイン案、あきたPR映像の紹介がありました。

例年であれば、この後、祝賀会が開催されますが、昨年に引き続き中止となりました。来年は通常開催できますよう、日常を取り戻すことを祈っております。



会 長 式 辞

一般社団法人 秋田県建築士会 会長 淡 路 孝 次

本日ここに、多くの会員各位のご出席のもと、令和3年度一般社団法人秋田県建築士会記念式典を挙行できますことは、誠に光栄であります。

ただ、残念ながらコロナ禍により関係各位の皆様にご臨席いただけなかったことは、本当に残念であります。しかし祝詞を頂戴いたしておりますので、後ほどご紹介させていただきます。

また祝詞を賜りました関係各位様には厚く御礼を申し上げますとともに、日頃から、私ども建築士会に対する温かいご指導・ご支援を賜り、心から感謝を申し上げるしだいです。

本日、永年功労表彰されます皆様、真におめでとうございます。

是まで長きに渡り本会発展に寄与されましたことに高い席からではありますが心から感謝申し上げます。

さて、秋田県建築士会は、昭和27年（西暦1952年）8月に発足以来、来年度が70周年という節目の年となります。その節目の年に建築士会の全国大

会が秋田県において40年ぶりに開催されますことは、誠にうれしいことと思っております。

ところで、コロナ禍による社会の変化は想像以上のものがあると感じております。それ故か、建築業界を取り巻く環境もこれまで経験しなかったウッドショック始め、様々な変化が生じております。厳しい現状ではありますが、節目を迎えた大切な時期でもありますので困難な課題に果敢に挑戦し、秋田の伝統や地域特性を生かし建築・まちづくりに建築のプロとしてチャレンジし行動し、地域と一体となり貢献して行くことが最も重要であると認識しております。

結びにあたりまして、本日のこの記念式典にご臨席の皆様並びに関係者各位の皆様には今後とも一層のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げますと共に、会員一同更なる地域貢献をお誓いし式辞とさせていただきます。

本日は、誠にありがとうございます。



式 典 祝 辞



秋田県建設部建築住宅課長 中 野 賢 俊

貴会の令和3年度定時総会が滞りなく終えられましたこと、心からお祝い申し上げます。また、本日、永年功勞の表彰を受けられました皆様におかれましては、これまでのご功績に深く敬意を表しますとともに、今後の益々のご活躍を祈念いたします。併せて、会長をはじめ役員の方々並びに会員の皆様方には、日ごろより本県の建築行政・住宅行政の推進にご協力いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの感染症拡大は、未だ収束の兆しが見えないところですが、一方で、高齢者のワクチン接種がスタートし、「アフターコロナ」を見据えた施策が求められているところです。その一つとして、地方移住・定住の推進があげられます。新型コロナは、私たちの価値観、社会のかたちに大きな変化をもたらしました。地方移住、在宅リモートワークへの関心に応えるため、人口減少・少子化対策の一つとして進めている「住宅リフォーム推進事業」について、今年度は在宅リモートワークの環境整備を行う移住・定住世帯に対し支援を拡充することにしました。地方移住・定住への関心の高まりについては、新型コロナ収束後もそのニーズを的確に捉え、ニーズに見合った施策を推進していくことが必要と考えております。

話は変わって、建築行政分野では、昨年度、2つの計画の見直しを行いました。

まず、「秋田県建築行政マネジメント計画」です。建築基準法、建築士法の規定に基づき建築物の安全安心を確保するために策定したものです。平成23年に策定したものについて、社会情勢の変化に対応できるよう、今回2回目となる改定を行いました。

特に、建築確認については、円滑な経済活動の実施を確保しつつ、その実効性を確保するため、迅速かつ的確な建築確認審査を推進することとしております。県のみならず、他の特定行政庁・指定確認検査機関においても、これまで以上に迅速かつ的確な処理に努めて参りますが、申請手続きを行う皆様方におかれましても、改正の趣旨と内容を十分にご理解くださり、審査業務が円滑に進みますよう、ご協力をお願いいたします。

二つ目は、「秋田県耐震改修促進計画」です。県では、平成19年に当初計画を策定して以来、長く住宅・建築物の耐震診断及び耐震改修の推進に取り組んで参りました。取り組みの結果、県内住宅耐震化は一定の成果を上げたところですが、今後もさらに高い目標に向かって取り組むべく計画の見直しを行いました。耐震診断士派遣業務も、各市町村、建築士会をはじめ関係団体のご協力を得られたことにより、おかげさまで浸透いたしました。今後も、県内住宅・建築物の耐震診断及び耐震改修が計画的に実施されるよう支援して参ります。

併せて、県では、良質な社会資本のストック形成と県民の豊かな住生活の実現に向け、各施策の効果的な実施に取り組んでまいります。皆様方におかれましても、建築行政・住宅行政の推進に、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

終わりにになりますが、秋田県建築士会の今後の益々のご発展と、会員皆様のご健勝を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。本日は誠にありがとうございます。

令和3年6月30日の定時会員総会及び理事会で 役員が改選になりました。 役員の皆様をご紹介します。

(1) 役員（理事及び監事）

役 職 名	氏 名	地域建築士会名
会 長	淡 路 孝 次	秋田中央
副 会 長	石 川 成	大館北秋
	田 仲 雅 美	秋田中央
	照 井 郁 人	横手
専務理事	小田島 誠	仙北
常務理事	大 高 勇	能代山本
	高 橋 幸 治	由利
	佐 藤 隆 志	湯沢雄勝
理 事	中 西 純 悦	鹿角
	戸 舘 康 博	鹿角
	鳥 潟 宏 一	大館北秋
	櫻 庭 徹	能代山本
	赤 川 孝 則	秋田中央
	小 原 正 明	秋田中央

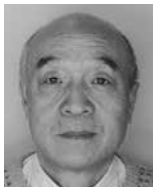
役 職 名	氏 名	地域建築士会名
理 事	櫻 庭 星 治	秋田中央
	正 木 和 美	由利
	湊 泰 正	仙北
	鈴 石 博 実	横手
	山 脇 一 樹	湯沢雄勝
	工 藤 博 臣	連合会委員（由利）
	草 薙 涉	青年委員長（仙北）
	加 藤 一 喜	青年副委員長（能代山本）
	松 橋 雅 子	女性委員長（北秋）
	清水川 道 子	女性副委員長（湯沢雄勝）
監 事	齊 藤 留美子	大館北秋
	泉 谷 昭 一	仙北
	根 知 宏	会員以外

(2) 顧問、相談役、名誉会員

顧 問	柴 田 正 敏	秋田県議会議長
	佐 藤 信 喜	秋田県議会建設委員長
	小 竹 哲 夫	（一社）秋田県建築士会元会長
	湯 沢 隆 市	（一社）秋田県建築士会前会長

相 談 役	佐 藤 秀 治	秋田県建設部長
	中 野 賢 俊	秋田県建設部建築住宅課長
	佐 藤 温	秋田県建設部営繕課長
	熊 谷 勝	（一社）秋田県建築士会前副会長

【役員の皆様からのコメント】



副会長
石川 成

副会長一期目の昨年度は役割がよく理解できないまま終えましたが、二期目の今回は最後と思って会長の補佐役・「全国大会あきた大会」成功のために、皆さんと共に頑張りたいと思います。よろしくお願ひ致します。



副会長
田仲 雅美

令和4年10月14日、開催決定されている全国大会秋田大会に向け、役員を始め中央士会の皆様に一層のご協力をお願い申し上げます。

2020年1月に感染確認されたコロナ禍。去る7月23日には一年延期の五輪2020東京大会が開会され、17日間の熱戦が繰り広げられた。

代表選手の活躍に一喜一憂もつかの間。8/22現在、全世界で2億1千万人、日本で130万人弱の感染が確認され、全く収束の見えない驚異。そんな最中、一年延期の苦渋の選択をし、本年11月の開催に向け諸準備をされていた広島県建築士会の「現地開催中止」の一報が入った。残念至極の思いでいっぱいと思う。

来年の開催地秋田。皆様の団結で息を吹き返そうではありませんか！！



副会長
照井 郁人

副会長としてもう1期務める事になりました、秋田大会に向けて頑張ってます。コロナ禍により活動が制限されています。2年目、会員の方々の交流が途絶えています、会員の皆さん元気ですか！

若い時の話、数日間の単独行、下山の途中にたどり着いた場所、北アルプス八方尾根の第3ケルン、ケルンはピラミッド状に小石を積み上げた道標、霧に包まれた時の道しるべとなります、小石を持って眩く！ こいしい、こいしい、と小石を積み上げる・・・人がこいしい。コロナ禍の中で建築士会の『なにげない日常』が戻る日まで、みなさんと共に頑張ります。



専務理事
小田島 誠

この度専務理事を再任になりました小田島です。これまで役員としての活動がどの程度貢献できたか分かりませんが、今後も微力ながら会長を支え精一杯努力していきます。コロナ禍により士会活動も制限されている中ではありますが、会員にとって必要な事業を進める事が大切です。また来年の全国大会あきた大会の準備も進めています。秋田の魅力を全国の会員に伝えたいと思います。皆様方の協力を得ながら大会成功に向けていきたいと思っています。そしてこの大会を通して秋田県建築士会が地域の発展に寄与することと、会員相互が精励に勤め更なる向上になるよう精一杯努力する所存でありますので、皆様方の力添え何卒宜しくお願い致します。



常務理事
大高 勇

全国大会が来年に迫る中で、今年度より常務理事という重責を担う立場となりました。当会発展のために尚一層の研鑽、各種事業の推進及び参加、会員増強を目標に積極的に努めて参りたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



常務理事
高橋 幸治

常務理事として3期目、事業委員長として2期目となりましたが、昨季今季共コロナ禍により思うような活動ができていないのが現状です。今は来年の全国大会（あきた大会）を無事迎えることができるよう願うばかりです。会員一同御協力いただき成功できるようがんばりましょう。着々と準備は進んでおりますので、号令がかかりましたらよろしくお願い申し上げます。



常務理事
佐藤 隆志

常務理事として再任いただきました。コロナ禍、地域活動も自粛が、求められています。やっと私にもワクチン接種の機会がまわってきそうです。この士会ニュースが発行される頃には、抗体を持ち、無敵になっているはず。それでも、『人からうつらない』『人にうつさない』という状況はしばらく続くのでしょう。 ホント困ったものです。



理事
中西 純悦

秋田県建築士会監事3期を務め、この度鹿角建築士会会長、秋田県建築士会理事として就任させていただき誠に光栄ではありますが少し荷が重い思いもあります。昭和54年に建築士会に入会して以来、色々経験させて頂いております。今後とも建築士会ため、頑張りたいと思いますので宜しくお願い致します。



理事
戸館 康博

この度、新しく理事となりました戸館です。まずは全国大会あきた大会ということで、成功に向け尽力してまいりたいと思いますので、よろしくお願い致します。



理事
鳥潟 宏一

いよいよ来年に迫った全国大会あきた大会の成功にむけて、私に何ができるかわかりませんが、みなさんと一緒に微力ながら頑張りたいと思います。よろしくお願い致します。



理事
櫻庭 徹

今期も引き続き、理事を務めさせていただきます。微力ながら、当会の発展に貢献したいと思います。



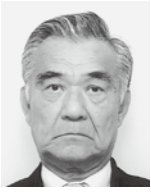
理事
赤川 孝則

一年延期となりいよいよ来年にせまった全国大会あきた大会の成功に向けて、理事4期目として会員の皆様のご協力を得ながら職責を担っていく所存でありますので、今後ともよろしくお願い致します。



理事
小原 正明

今年度、当会にまちづくり委員会が設置され、委員長を務めることになりました。当会では主に、各地域会や青年・女性委員会が主体的にまちづくり活動や地域貢献活動を行っておりますが、相互の連携や全国への情報発信に苦慮している状況にありました。今後、皆様とともに、活動の活性化に努めたいと思っております。日本建築士会連合会では、施策全般を所掌する総務・企画委員を務めており、全国大会の推進・調整に関する議論にも参画しております。「広島大会」の現地開催断念は、残念な結果となりました。来年の「全国大会あきた大会」の成功に向けて、当会と連合会の橋渡し役として尽力したいと思いますので、よろしくお願い致します。



理事
櫻庭 星治

今期もよろしくお願ひします。いよいよ、建築士会全国大会あきた大会が来年に迫りました。世の中新型コロナ感染でなかなか気分が乗りませんが、準備はしっかりしなければならぬと思います。皆さんと一緒に頑張りましょう。



理事
正木 和美

秋田県大会に向け皆さんと協力して頑張ります。



理事
渡 泰正

本来であれば後、およそ1か月後に迫った『建築士会全国大会あきた大会』の準備に翻弄されている頃ではなかったでしょうか。全国的な感染症の拡大、行動の自粛により前年大会が延期になり、ついには中止となってしまいました。1年後のあきた大会は『ミルハス』でキット盛大に開催される状況になってほしいものです。



理事
鈴石 博実

この度、理事に就任させていただきました。コロナ禍の混沌とした中で、本来の活動方法とは違った、今だからこそ、何ができるのかを考え活動させていただきたいと思います。ちょうど秋田の設計事務所に就職した昭和56年に開催された第24回全国大会。それから41年ぶりに開催される秋田での全国大会に向けて、建築を携わってきた喜びとその役目を果たすべく、皆さんと協力して取り組みます。きっと、今後のスタンダードとなるような全国大会になるだろうと思っています。それは秋田から始まったといわれるように、『建築』で挑戦！ 郷土のこれから のテーマのもとで、情勢の変化にしなやかに対応していく姿を発信できることを願っています。



理事
山脇 一樹

順延となっておりますが、来る全国大会に向けて頑張っていく所存です。コロナの影響で支部の活動もままならない状態ですが、早く当たり前の活動ができるように願っています。皆様方に於かれましても、御体に気をつけて、この難局を乗り越えていきましょう！



理事
工藤 博臣

連合会青年委員会への出向者として、理事を再任させていただきます由利の工藤です。

コロナ禍において、事業等が例年とは違う形となり、大きく様変わりしているところと思います。昨年は手探り状態でありましたが、本年からはコロナ禍でも出来る事業などを多めに検討し、実施していく必要があると考えます。

また、今年度は令和4年の全国大会・あきた大会に向けて、構想からの想いを形にしていける年であります。様々な方からのお力をお借りしながら全員で創り上げる大会に出来るように、尽力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



理事
草薙 渉

この度、前期に引き続き青年委員長を仰せつかりました草薙です。

昨年1月に新型コロナウイルスが日本で確認されて以来、未だ収束の目途が立たず活動も制限され、これまでの当たり前があたり前でない状態となっていました。しかし、それに代わりICTが急速に普及しニューノーマルな時代が始まっています。移り行く時代に遅れをとることなく、常に最新の情報・技術を取込み、これまで以上に建築士会を盛り上げられるよう尽力してまいります。

～われわれ建築士は 社会の発展のため 最新の指導者たるべし～

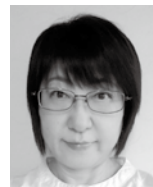
そして、令和4年に開催される全国大会あきた大会の大成功に向け、仲間と共に頑張る準備を進めていきたいと思っています。



理事
加藤 一喜

新型コロナウイルスの影響やウッドショック等によりなかなか我々建築に携わる者の間でも明るい話題がありません。状況が続いていることと思われます。

秋田県では来年、第64回建築士会全国大会あきた大会が開催される予定となっております。自分も皆様と力を合わせ大会が盛大に行われるように頑張りたいと思っていますので宜しくお願いいたします。



理事
松橋 雅子

女性委員長として特例の3期目を迎えました。昨年は新型コロナウイルス感染で予定していた活動することができなかったため、改めて会員増強・若手育成・スキルアップに努め、地域における「まちづくり」活動や、他専門職種との交流・連携と会員の活動をサポートしつつ、その時々々の社会情勢に合わせフレキシブルな活動を展開していきます。

また、今年度より発足したまちづくり委員会において、「福祉まちづくり部会」リーダーを務めさせていただくこととなりました。初年度の今期はメンバーを募り、他県の「福祉まちづくり部会」の活動を知る機会を設け、私たちに求められていること、私たちができることを考え実践していきたいと思っています。



理事
清水川道子

女性副委員長として2期目の理事を務めさせていただき湯沢雄勝の清水川です。今年度は来年に差し迫った全国大会・秋田大会に向け、構想を現実の形にする為の大切な年になります。「会員相互の協力によって大会が成功に繋がるように」そんな気持ちでがんばります。どうぞよろしくお願いします。



監事
斉藤留美子

本年度より、監事に就任となり、ご挨拶申し上げます
建築士人口減少の中、産業革命的背景や、国民の生命を脅かす事柄など、次から次へと難問がのしかかり、もはや一人では乗り越えられない波が押し寄せているのが現実です。どんな状況下であれ、この先どのような対応が求められようが、秋田と伝統と、そこにある「こころ」を忘れない建築士でありたいと願うばかりです。
今後増々建築士が、重要な役割を担うこととなり、建築士会の役割も比例して、その重要性を増すこととなるだろうと思います。今できること、すべきことは何だろうか、自問自答しながら、建築士会の皆様と共に考え、歩んで行きたいと思っています。
最後に、秋田県建築士会の益々の発展を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。



監事
泉谷 昭一

令和3年度3期目の監事を任命されました仙北建築士会の泉谷です。
会員となってから40年近くとなり、また仙北建築士会の監事も6期ほど務めました。これまで頑張ってきたのは地元会員の皆様方のご協力のおかげと感謝しております。

さて、一年延期されました令和4年の全国大会あきた大会が目前に迫ってきております。この大会は、県民の皆様に建築士会の役割を知って頂く大きな機会であり、また秋田県を全国的にアピール出来るチャンスでもあると思っています。役員及び会員全員が結束し、この大会が有意義な大会として開催、成功されることを願っております。



監事
根 知宏
秋田県建設
技能組合連合会

外部監事としてお世話になります。ウッドショックや新型コロナウイルス対策とともに建築職人不足が顕著となりつつ有り内需産業である建築業界は非常に大変な時期となりましたが、困難を乗り越えられるのは仲間を持った組織の力だけです。個人ではなかなか出来ない事も多くの仲間とともに協力し頑張ってゆきましょう。

また、同日各位委員会の委員が決まりましたので、併せてご紹介いたします。

令和3年度（一社）秋田県建築士会 委員会名簿

委員会名	委員長		副委員長		委員	
総務	鹿角	中西 純悦	能代	大高 勇	鹿角	金沢 拓
					北秋	畠山富美男
			秋田	小原 正明	能代	佐々木政幸
					秋田	赤川 孝則
			仙北	湊 泰正	由利	正木 和美
					仙北	長澤 幸広
					横手	北嶋 清美
					雄勝	山脇 成吉
事業	由利	高橋 幸治	鹿角	戸舘 康博	鹿角	黒沢 賢
					北秋	三浦 英人
			秋田	櫻庭 星治	能代	田村喜代宣
					秋田	谷口満洲美
			横手	黒田 稔	由利	佐藤 孝一
					仙北	戸嶋真紀子
					横手	川本 一義
					雄勝	由利 靖
まちづくり	秋田	小原 正明	歴町	松塚 智宏	鹿角	畠山 泰三
			福町	松橋 雅子	由利	周防 敦子
			景観	鈴木 博実	雄勝	加納 大輔
			空家	桜庭 徹		
			防災	佐々木昭仁		
			木	大高 勇		

委員会名	委員長		副委員長		委員	
青年	仙北	草薙 渉	能代	加藤 一喜	鹿角	安保 尊
					鹿角	木村 嘉幸
					北秋	北村 公晴
			秋田	能上 崇	北秋	熊谷 昌剛
					能代	鈴木 隆宏
					秋田	石田 純
					由利	伊藤 学
					由利	伊藤 祐一
					由利	工藤 博臣
					仙北	佐々木智昭
					仙北	松塚 智宏
					横手	千葉 和廣
					横手	亀井沢洋平
					雄勝	加納 大輔
					雄勝	阿部 俊介
女性	北秋	松橋 雅子	北秋	安達真由美	鹿角	石木まり子
					能代	池田 佐保
					秋田	竹田 青子
			秋田	伊藤加久子	秋田	工藤 秀子
					秋田	樋渡 博子
			雄勝	清水川道子	由利	周防 敦子
					仙北	小松 奈美
					仙北	鈴木有扶子
					横手	鈴木ルリ子

※北秋：大館北秋田、能代：能代山本、秋田：秋田中央、雄勝：湯沢雄勝

令和3年度通常総会
会長表彰者紹介

永年功労者表彰



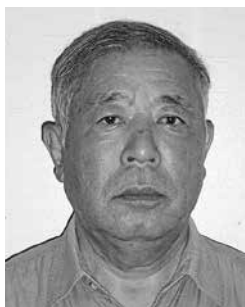
地域会名
氏名
住所
勤務先(名称)
(住所)
趣味
コメント

鹿角建築士会
小 館 正 光
鹿角郡小坂町荒谷字万谷 110 - 3
ホームサービス 小館建築所
鹿角郡小坂町荒谷字万谷 110 - 3
お酒、カラオケ、パークゴルフ
この度は永年功労者として表彰を受けることになり、大変うれしく思っております。誠にありがとうございます。
秋田県建築士会様に長きにわたりお世話になり、業界の情報共有や交流の場など、業界に必要な事柄を数多く担って下さり、日々有りがたく思っております。引き続き、会の発展を祈り会員としてお手伝いさせて頂ければ幸いと思います。今後もよろしくお願いいたします。



地域会名
氏名
住所
勤務先(名称)
(住所)
趣味
コメント

大館北秋田建築士会
石 垣 孝 浩
大館市茂内字膳棚下 91
秋田県建築設計事業協同組合
大館市字相染沢中岱 159-2
酒 カラオケ(演歌) 街歩き・建物めぐり 猫
この度は、永年功労者表彰を頂き誠にありがとうございます。昭和の終わりに建築士となり士会に入って33年、青年部では毎晩酒を飲んでいたような気がします。コロナ禍の現在はソーシャルディスタンスとかで人との距離は遠くなり、デジタルヒューマンまで出現し、仕事はリモート・車は自動運転・東京2020は無観客、オフィスもスタジアムも人さえも本当は要らないのかもしれない、そんな時代の変化の速さに驚きながら、昔はよかったと飲んだくれ昭和爺が残りの仕事に、混迷の現在・未来を生きる若者の進む道を示せませんが、少しでも手助けが出来ればと思う今日この頃です。
建築士会の益々のご繁栄と、会員の皆様のご活躍を心より祈念申し上げます。



地 域 会 名
氏 名
住 所
勤務先(名称)
(住所)
趣 味
コ メ ン ト

能代山本建築士会
落 合 弘 康
秋田県能代市落合字中大野台 95
落合建築事務所
秋田県能代市落合字中大野台 95
なし
建築士会発行の「建築士」は、建築に携わる者にとっては貴重な資料になります。建築の意匠、構法、設備、歴史、文化、また、構造においては、地盤、地震、被害状況の調査報告などがあります。
その他、文化的に住まう為の技術の在り方。建築士の職業倫理と社会的使命についても述べられていて、建築士にとっては欠かせない定期刊行物となっています。



地 域 会 名
氏 名
住 所
勤務先(名称)
(住所)
趣 味
コ メ ン ト

秋田中央建築士会
加 藤 一 成
秋田市東通 1 丁目 6-5
(株)加藤一成建築設計事務所
秋田市東通 1 丁目 6-5
近場のツーリング
つい最近、「新しい働き方」に合わせて秋田オフィスを自宅に移した。
特に広いスペースも無く、先代の時代から使用していた重く大きい備品や数百冊に及ぶ書籍・雑誌もごく一部を残してほぼ全部処分した。多少寂しくも爽快な気分である。驚くことにオフィスにあった 9 割以上の物は不要だったと気付かされた。15 年以内の設計図書は保存してあるが CAD データや打合せデータがあれば物として保存する必要もない。建築雑誌やカタログも多くは電子版で購入や閲覧が可能である。これまで大切だと思い込んでいた物を徐々に手放していく、永年功労者とはそんな年齢なのだと思う今日このごろである。



地 域 会 名
氏 名
住 所
勤務先(名称)
(住所)
趣 味
コ メ ン ト

秋田中央建築士会
植 田 一
秋田市新屋元町 12 - 27
(一財)秋田県建築住宅センター
秋田市中通 2 - 3 - 8 アトリオン 5 階
音楽研究、園芸、飲酒
早いもので事務局を担当して 6 年目となりました。初めは多種の業務に驚くばかりでしたが、昨年度から士会東北ブロック会の事務局も担当することとなり、联合会や他県士会の皆さまとの情報交換等もスムーズにできるようになりました。
次年度開催のあきた大会は、士会業務の集大成として臨む覚悟でございます。大成功するか否かは、どれだけ多くの当会員が一丸となれるかが鍵であると捉えており、そのためには皆様のご尽力を最大限発揮できる環境を準備をしております。残り時間は限られておりますが、引き続き皆様のご支援ご協力をお願いいたします。



地 域 会 名 由利建築士会
氏 名 正 木 和 美
住 所 秋田県由利本荘市岩城二古字横砂子 1 - 40
勤務先(名称) 正木一級建築設計事務所
(住所) 秋田県由利本荘市小人町 20 - 2
趣 味 釣り
コ メ ン ト この度は表彰していただき有難うございます。
今後も建築士会活動に参加して行きたいと思います。



地 域 会 名 仙北建築士会
氏 名 齋 藤 喜 義
住 所 仙北郡美郷町六郷字古屋敷 70
勤務先(名称) 株式会社長岐建築設計事務所
(住所) 大仙市大曲上栄町 13 番 60 号
趣 味
コ メ ン ト 建築士会歴が浅いにも関わらず永年功労者表彰を頂戴し大変恐縮しております。
私は、「創造」するのが好きです。絵に書いたものが完成(実在)したときの喜びは何にも代え難いものがあります。
スケールの大きな土木工事の魅力ですが、建物の大小に関わらず、多種多様な工種がうまく組み合さり、一つひとつのスケールは小さいけれど、まとまって一つの建物が出来上がる。そういうところに魅かされている気がします。
建築士会では幅広い業種の方々との交流があり、特に毎年各地で開催される全国大会は、最も楽しみに催しです。残念ながら広島大会は中止ですが、2022 年の秋田大会は是非盛会裏に終えたいのです。
今後ともよろしくお願い致します。



地 域 会 名 横手建築士会
氏 名 佐 藤 明
住 所 横手市雄物川町大沢字大沢 212
勤務先(名称) 株式会社 大和組
(住所) 横手市平和町 10 - 30
趣 味 山里歩き、車での旅行
コ メ ン ト 今秋、松濤美術館(渋谷区)で「白井晟一入門 展」を開催するというので作雪軒(横手市)の取材を嘆願され、緊急事態宣言の最中、その合間を縫って 6 月末に学芸員の方とお会いしました。家主の代理で建物の外観をご案内しながら建築時のエピソードや同氏作品の酒造会館(湯沢市)や稲住温泉などの話に及ぶと旧雄勝町役場が解体されたこと大変寂しがっておられました。
当時、一部の会員の方が保存運動をおこなったと聞いていますが、何とか成らなかったと思うと今でも残念でなりません。有名建築家の作品を後世に残すことも我々の責務の一つと考え、行政に働きかける建築士会になっていければ良いと考えるのですが、如何でしょうか。



地 域 会 名
氏 名
住 所
勤務先(名称)
(住所)
趣 味
コ メ ン ト

湯沢雄勝建築士会
鈴木 伸 一
秋田県湯沢市字下山谷 184
株式会社丸臣高久建設
秋田県湯沢市湯ノ原二丁目 2 - 51
カメラ・自然散策・畑作業・虫・・・e t s
まずは、今回の永年功労者表彰を私にいただきました事に恐縮しております。
これも偏に関係者の皆さんのご協力があったの事と感謝しております。
元々は土木技術者を志して数年間、土木の設計管理をしていましたが機会があって建築の世界に入ってきました、基礎・コンクリート・鉄筋・構造等は土木との関係もあり、最初から抵抗なく理解できましたが、意匠・木構造には手こずりました(現在もですが・・・) ただ、小さい時から絵を描いたりするのは得意な方でしたのでそのへんは身を助けているかと思います。
設計に携わる際に自分として気を付けているのは、施工する側の目は大事ですが「施工し易い(らく)」ようにまとめるのは避けようと努めています。
今後とも、地域社会に会員として関りを持ち、何かしらの力になるよう貢献していきたいと考えていますのでこれからもよろしくお願い致します。

新入会員からのメッセージ



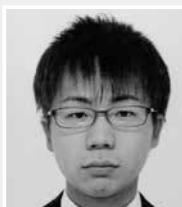
能代山本建築士会
田中健太郎

初めまして。

この度、秋田建築士会に入会しました、田中健太郎と申します。能代市二ツ井町で建築設計業務に携わっております。

「建築設計業務」という仕事を通して、地域貢献することに寄与できないかと考えることが多くなりました。

これを善い機会に、建築士会に参加し、交流を深める中で、客観的な視点や多様な考え方などを共有しながら、地域の発展や秋田杉の活用に繋がる活動ができればと思っておりますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。



秋田中央建築士会
加賀谷 滉

この度、入会させて頂きました加賀谷 滉（かがや こう）と申します。

まだまだ若輩者ではありますが日々、精進していきたいと考えております。

宜しくお願い致します。



秋田中央建築士会
金谷 修

この度ご入会させていただいた金谷修と申します。

草階建築創作所に所属しております。

秋田の特色を活かした建築を目指し、日々精進しております。

建築士会の活動に参加させていただきながら、先輩の皆様から多くの知識を学びたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。



秋田中央建築士会
佐藤 幸喜

はじめまして、間もなく還暦を迎えるこの年、入会します草階建築創作所の佐藤幸喜です。

建築を設計することは「制限時間内に長考を重ねた上の瞬間芸」と常日頃から感じている建築士の一人であります。

この世の様々な建物を探訪することが好物で、このコロナ禍はストレスがたまる一方ですが、再び徘徊できる日を楽しみに毎日を過ごしております。



秋田中央建築士会
銭谷 仁

この度入会させていただきました銭谷 仁（ぜにや まさし）と申します。
株式会社 沢木組に勤務しております。
先輩の皆様に習い多くの知識を習得し、地域に貢献できるよう努力して参ります
ので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いします。



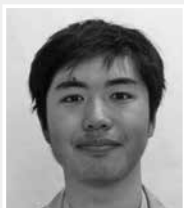
秋田中央建築士会
高橋 宏洋

この度入会させて頂きました高橋宏洋と申します。
建物の建築施工に携わっています。
どのような工夫をし、いかに施工しやすくするか、第一にお客様に満足していた
だけの建物を作ることを追求しながら仕事をしています。
まだ至らぬ点は多々あると思いますが、よろしくお願いいたします。



秋田中央建築士会
八柳 成太

この度入会させて頂きました八柳成太と申します。
五城目町に事務所があり、秋田市内を中心として主にリフォーム工事をメインと
して仕事をしております。
皆様から多くのことを学びながら貢献していけるように努力したいと考えており
ます。よろしくお願いいたします。



横手建築士会
武内 芳生

令和2年6月より入会させていただきました。
宜しくお願い致します。

まちづくり委員会の設置について

(一社) 秋田県建築士会

まちづくり委員長 小 原 正 明

今年度、当会にまちづくり委員会が設置されました。来年の「全国大会あきた大会」では、まちづくり活動に関するセッションが予定されております。会員の皆様とともにまちづくり活動・地域貢献活動の活性化に努めたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

1 まちづくり委員会の概要

(1) 目的（まちづくり委員会会則第3条）および役割

地域におけるまちづくり活動への参画、企画支援の推進及び（公社）日本建築士会連合会のまちづくり活動と連携を図ることにより、地域社会へ貢献することを目的とする。

当会では、目的である「地域社会の健全な発展と建築文化の振興への寄与」を達成するため、地域貢献活動等の事業を行うことにしており、当委員会は重要な役割を担うことになる。

(2) 分掌および事業等（分掌規程第4条（3）およびまちづくり委員会会則第4条）

ア まちづくりに係わる教育及び人材育成、まちづくり活動の推進に関する事項

イ 地域貢献活動センター、まちづくり会議及び講演会の開催に関する事項

ウ 行政が実施するまちづくり事業への参画、災害建築物等の調査研究に関する事項 ほか

(3) まちづくり委員会の構成（まちづくり委員会会則第5条、第6条）

委員長のほか、連合会まちづくり部会地域リーダーである6名の副委員長、3名の委員が選任された。8つの全地域会から選任されており、各地域会と連携を図ることとしている。

2 日本建築士会連合会のまちづくり活動の現状

(1) まちづくり活動を所管する「まちづくり委員会」、景観、防災、歴史、街中（空き家）、福祉、木の6つのまちづくり部会を設置しているほか、全国で「まちづくり活動部会」を組織している。

(2) 連合会まちづくり委員会は、全国の建築士会とともに、次のとおり、恒常的な活動を行っている。

ア [毎年]「全国まちづくり（委員長）会議」の開催（課題整理、事例、討論、連携）

イ [毎年]「全国大会セッション」の開催（地域に根ざした日頃の活動成果の発表）

ウ [隔年]「まちづくり賞」の開催（優れたまちづくり活動等の実績評価・表彰）

エ [常時]「地域貢献活動推進センター」の運営（活動支援、地域社会の発展等への寄与）

オ [常時] 各活動の指針やマニュアル等の作成、専門の建築士の養成等

(3) 「まちづくり委員会等を軸に全国で協働する建築士会」を建築士会が目指す目標像に掲げ、全国の実情等を踏まえ、建築士会活動相互の一層の連携を促進することとしている。

3 これまでの当会のまちづくり活動の現状

当会のまちづくり・地域貢献についてはこれまで、各地域会や青年・女性委員会が独自に活動している。(近年の「あきた建築士会ニュース「地域会だより」、「地域貢献活動」」等を参照)

日本建築士会連合会や全国の建築士会でも毎年、多くの事業を実施しているが、当会に専門の委員会がないため、これらの情報や蓄積された技術的知見が当会に届きにくく、また、当会の活動成果を全国に発信しにくい状況となっている。

また、会全体で連帯して取り組めておらず、各地域会、青年・女性委員会等の実践内容が関わっていない会員に伝わらないため、活動ノウハウが蓄積されず、十分な社会貢献ができていないのが実状である。

4 まちづくり委員会の設置の必要性

- (1) まちづくりに関する事業を推進・活性化し、当会の目的である地域社会貢献を達成するため。
- (2) 各地域会、青年・女性委員会等のまちづくり活動を支援強化するため。
(各地域会、青年委員会、女性委員会のまちづくり活動状況の集約、県内への広報等)
- (3) 連合会、全国の建築士会のまちづくり活動への参画および連携体制を整備するため。
(連合会まちづくり活動部会、まちづくり会議、全国大会セッション、まちづくり賞等)
- (4) 全国大会あきた大会セッションにおける活動成果の発表(歴史まちづくり、福祉まちづくり等)
- (5) 地域貢献活動センターを活性化するため。(会員参画活動への支援、地域社会発展等への寄与)

5 まちづくり委員会の設置に向けた動きおよび活動状況等

令和2年10月1日〔令和2年度第2回理事会〕事業委員会事業計画の活動状況の報告

「全国まちづくり委員長会議や活動部会への対応について、専門委員会等を立上げて対処するようにしていただきたい。(高橋事業委員長)」

令和2年10月10日〔令和2年度第1回まちづくり部会〕委員会設置に向けた協議、部会長選出

令和2年10月27日〔令和2年度第1回東北ブロックまちづくり委員会(秋田市)〕

令和3年2月5日〔令和2年度全国まちづくり会議(宮城県松島)〕⇒ 中止

令和3年3月24日〔令和2年度第2回まちづくり部会〕分掌規程改正等、委員会活動等

令和3年3月30日〔令和2年度第4回理事会〕分掌規程改正、まちづくり委員会会則案承認

令和3年6月30日〔令和3年度第2回理事会〕委員長、副委員長および委員の承認

令和3年7月29日〔令和3年度第1回まちづくり委員会〕3年度事業計画、活動状況報告

令和3年9月25日〔第30回全国女性建築士連絡協議会〕コメンテーター(松橋雅子氏) 【福祉】

令和3年10月30日〔第16回木の建築賞〕二次選考会(秋田市)、7月1日募集開始 【木】

令和3年11月20日〔第63回全国大会(東京開催)〕セッション情報収集(WEB) 【全般】

令和3年12月4日〔秋田中央地区ヘリテージマネージャー養成講座〕閉校(5月15日～) 【歴史】

6 まちづくり委員会の活動（想定）

まちづくり活動を活性化するため、当会内の【縦・横】の連携を図り、次のステップを想定

(1) 【活動状況の見える化】 国等の制度や手引、連合会や全国建築士会のマニュアル、実践事例を当会内に紹介するとともに、各地域会や青年・女性委員会の活動を会全体で情報共有化する。



(2) 【全国大会発表・準備】 全国大会に向け、各分野や地域会等の活動状況を把握するとともに、セッション発表を見据え、重点分野を絞り、部会や地域会等が連携協力して取り組む。



(3) 【全国との関係構築】 全国大会の発表や運営を通じて、多くの会員が全国の活動状況を把握し、全国の会員とネットワークを構築する。（全国大会を秋田県で開催する意義、財産）



(4) 【まちづくり活動実践】 全国大会で得た知見等を活かし実践し、活動を活性化させる。



(5) 【継続実践、発表評価】 継続的に実践するとともに、毎年の「まちづくり会議」や「全国大会セッション」での成果発表、隔年の「まちづくり賞」での評価・表彰へ参画する。



(6) 【目標】 これらの過程を経た「まちづくり活動」を通じて、行政や県民への社会貢献を果たす。

(公社)日本建築士会連合会東北ブロック会青年建築士連絡協議会 第10回東北ブロック青年大会 岩手大会 ～みらいをつくる～(の舞台裏)

(公社) 日本建築士会連合会 東北ブロック会
青年建築士連絡協議会 会長 草 薙 渉

例年であれば、秋田県建築士会青年委員会の活動内容についてご報告しているところではありますが、このコロナ禍において一切の活動が行えませんでした。ここでは今年3月に唯一開催することができた東北ブロック青年大会（の舞台裏）を紹介させていただきます。

【目的】

本来、東北ブロック青年メンバーの自己研鑽・交流を目的として開催される本大会ですが、昨年の3月はコロナの影響で中止となりました。そして、その後もコロナの猛威は増すばかりで今年も開催が危ぶまれる状況でした。しかし、東北ブロック会青年メンバーの代表である我々青年建築士連絡協議会としては今年も活動無しでは終われない、状況に合わせた何かが出来るとははずだ、そして青年メンバーの今後の活動のヒントになる何かでやりたいとの思いから、現地+web配信併用で大会を2年振りに開催することになりました。

【とき・ところ】

日時：令和3年3月27日（土） 13：30～17：30

会場：ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング

+web配信：zoomウェビナー 「ハイブリット」

【内容】

第一部

大会式典 挨拶、地域実践活動報告会 他

第二部

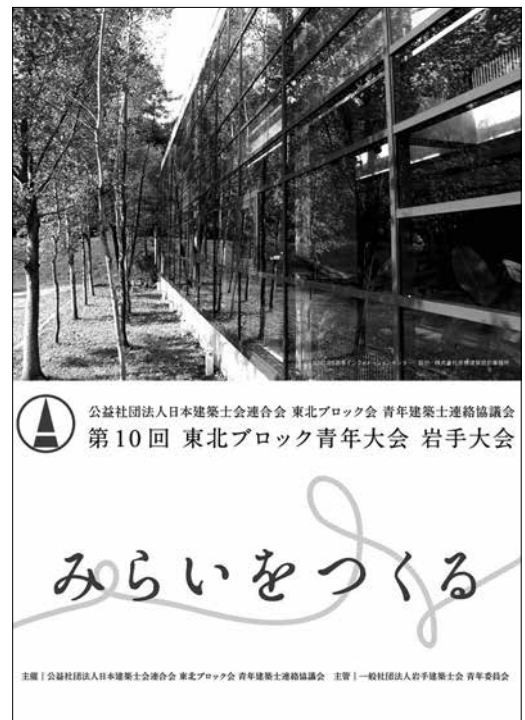
フォーラム① 基調講演 ～演題『みらいをつくる』～

講師：彦根 アンドレア 氏

フォーラム② 対 談 ～フリートーク～

Guest：彦根アンドレア 氏 × 近角真一 日本建築士会連合会会長

Coordinator：稲見公介 日本建築士会連合会青年委員長



【参加者数】

現地参加×45名 +web参加×145名 =合計×190名

【舞台裏 と 所感】

web併用ハイブリットで開催しよう！と企画したまでは良かったものの、リアルタイムでのweb配信となると何をどうやったら実現できるのか全く知識がない状態からのスタートとなりました。となればプロ（業者）へ一括で委託すれば済む話ではありましたが、それも当然ながら予算が足りません。また、

我々のこの活動が青年メンバーの今後の活動にも生かして欲しいという目的もあったことから、やはりここはプロに頼らず自前配信に拘ることにしました。そこからは配信方法をwebで夜な夜な検索し、書店に行ってはhow to本を買いあさり…読みあさり…。心が折れかけたことも一度のみならず…。そうしてトライ&エラーを重ね、多い時には1日おきにリハーサルを行うことで、沢山の「不安」を一つずつ「自信」に変えていきました。しかし、別に大問題がありました。コロナ…。状況は良くなりず講師であるアンドレアさん（東京）、来賓である近角連合会会長（東京）に於いては緊急事態宣言が大会1週間前まで延期されたことを受け、来県できるのか、来県してもらっても良いのか、そして、大会を開催しても良いのか悪いのかと我々協議会メンバーの心労は尽きませんでした。だからといって、メインゲスト無くしての企画内容の変更は今更ながら不可能であり、早めに中止とする判断が妥当と誰もが考



講師紹介の舞台裏（会場参加者とweb参加者同時に発信するため、死角無きようカメラの設置位置が難しい）

えたと思います。でも、ここまで準備してきて簡単には諦められず、宣言解除となってくれることを強く願うことにしました（気持ちの半分は現実逃避）。そして、その思いが伝わったのか何とか大会を開催することができました。常にネット回線のフリーズという不安は抱きながらも、大きなトラブルもなく4時間程のweb配信をやり遂げることができました。



トークセッションの舞台裏（PC、モバイルディスプレイ、ipad、スイッチャー etc）



スイッチャー（配信画面を切替えるためのもの）

照明の問題、音声の問題と課題が残った部分もありましたが、素人ながら初挑戦にしては大成功で終えられたと思っています。そして、新たにweb配信スキルが私に備わりました。またの機会に向けて参加者から頂いたアンケートの内容を元に問題点をピックアップし対応策を模索し、今回以上のクオリティーでの配信に次回は挑戦したいと思います。



IDIC 外観と内観 設計者であるアンドレアさんが特別に案内してくれました。

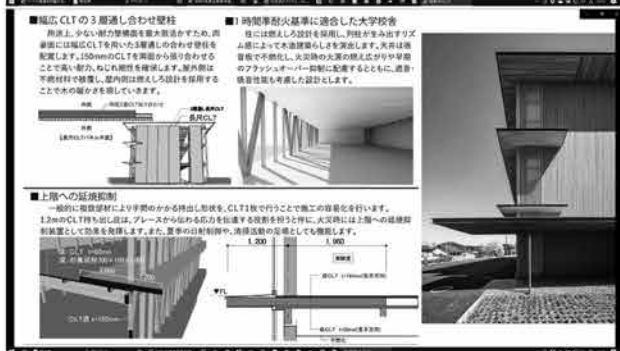


アンドレアさんとわんこそば

令和2年度全国青年委員長会議 開催報告

行事名称	令和2年度全国青年委員長会議 『万事、見にやわからんぜよ』いざ高知！	会 場	配信場所「高知学園大学」高知県高知市 オンライン開催（Zoom配信）
開催日時	令和3年3月13日（土）13：00～17：30	報告者	連合会青年副委員長 工藤 博臣
開催趣旨	現在のコロナ禍において各種事業が中止や延期となる中、web上の各県委員長グループページを作り、建築の未来を話し合い一つの形にする事と致しました。具体的には、「CLTアイデアコンテスト」に応募する取り組みを始めました。そのCLT技術の先進県である高知県の地で、CLT建築物について、学び考え「CLTアイデアコンテスト」の総仕上げと致します。 また、昨年の全国北海道大会・地域実践活動発表会にて最優秀賞に輝いた、中四国ブロック代表・高知県の「土佐幕末の芝居絵屏風・絵金文化の継承」～赤岡町家再生活用プロジェクト～があります。これは、まちを巻き込み、まちづくりを継続した素晴らしい活動で、この活動事例を参加者で共有し、今後の各単位士会での活動に繋げてまいります。	内 容	第一部 「CLT・建築の未来を見据えて」 発表者：西 和人（青年副委員長） 講 師：小原 忠（高知県林業振興環境部） 横畠 康（（有）艸建築工房） 第二部 「ワークショップ・ひらく！建築士とまち・ひとづくり」 講 師：北山 めぐみ （高知工業高等専門学校・准教授）
報 告 事 項	◇趣旨に対する成果 コロナ禍の状況を鑑み、今回は初の試みとなるオンライン開催でありました。各単位士会青年委員長はPC画面前での参加となり、連合青年委員は高知県の高知学園大学（CLT 建築物）からの配信となりました。準備設営段階よりこのコロナ禍だからこそ、われわれ青年が前を向いて力強く進める気概を委員メンバー全員で共有しておりました。 当日は2部構成とし、CLTアイデアコンテストの報告とCLTセッション、まちづくりワークショップを開催。 第1部のCLTでは、有志によるWEBでの会議を繰返し出来たCLTアイデアコンテストへの挑戦、全てオンラインでのやり取りで作品を作り上げた事は、今後の新たな可能性を発信する事が出来た。また、講演では発注者側の取組み、利用する設計側の挑戦など、CLTに対しての積極的な取組みを伺うことが出来ました。 第2部のワークショップでは、北山先生より自身の活動を通した「まちづくり・ひとづくり」についてお話を伺いながら、PC画面前の参加者と共にオンラインワークショップを行った。お題が答えを出せそうで出せない、などの声がありましたが、その分参加者の多くの意見、考え方に広がりを感じる事が出来ました。参加者は対面とは違うワークショップに対しても良い手応えを感じ取っているようでした。 会議後のアンケートを見ても、オンラインで出来る可能性を参加者全員で共有でき、各単位士会への広がりに期待できる会議となりました。 ◇課題・検討事項 ・一連の流れの確認・リハーサルが重要、今回はその点が不足であった。 ・配信上の映像や音声の不具合の原因を取り除く必要がある。 ・ワークショップ時グループ内でのアイスブレイク時間をもう少し多く取り、グループを活性させることが必要。 10グループに分けたコーディネーターは参加委員長にお願いしていたが、連携・説明不足からご不便をお掛けした。 ・冊子作成でのお願いや書類期日の連絡等、もう少し分かりやすくまとめる必要がある。 参加者数：近角会長、山本副会長、川ノ口相談役、高知県依光会長、単会青年委員長等 48 名、連合会青年委員等 12 名 合計 64 名		

開催状況



女性委員会事業報告

令和3年

2月6日 女性委員会

令和2年度幹事会・女性委員会、第1回学習会及び意見交換会
(於アトリオンビル7階「男女共同参画センター研修室」)

参加者 12名

1. 幹事会
2. 女性委員会
R2年度事業報告・R3年度事業計画について
全国女性建築士連絡協議会 委員長会議報告
「魅力ある和の空間」ガイドブックWEB版について
建築士会全国大会 あきた大会の進捗状況について
ポスターについて
3. 学習会 「ミニ縁起風・ミニ纏製作」

6月5日 女性委員会

令和3年女性委員会は書面配布
令和3年度第1回幹事会 (Zoomミーティングにて)

参加者 8名

1. R2年度事業報告・R3年度事業計画について
2. 東北ブロック会女性委員長会議報告
3. R3年度全国女性建築士連絡協議会福岡大会について
4. 魅力ある和の空間ガイドブックWEB版 推薦について
5. R3年度全国大会女性委員会セッションパネルストについて
5. R3/R4年度女性委員会役員改選について
7. 全国大会あきた大会について
8. 建築士の日について
9. 木の建築賞について



Zoom による初めての幹事会

女性委員会 第1回学習会

「ミニ縁起凧・ミニ^{まとい}纏制作」に参加して

湯沢雄勝建築士会 清水川 道 子

令和3年2月6日（土）第1回学習会「ミニ縁起凧・ミニ纏制作」が行われました。初めて制作体験する纏は、ミニというだけあってプラスチックのライターより少し大きいくらいで、小さくてかわいい。この纏と縁起凧を、今年度最初で最後の学習会にどのように形にしていけるのか、始まる前から興味津々。

教えてくださる講師の先生は、秋田市内で「まとい工房南天」という工房を構え活動している^{あきら}渡部顕さん。全国でも数少ないまとい専門の玩具職人さんです。

普段は纏の他に、要望に応じてミニチュア模型等も製作したりすることもあるのだとか。

まず初めはミニ纏から制作です。工程は、用意された薄めの厚紙を順番にカットしていきボンドで形作っていきます。一番の難関は、「纏の布のヒラヒラの反り返りをどうきれいに見せるか」、「この道のプロではないけどシャキッとカッコよく作りたいなあ」と思いながら（笑）。とはいえ、初めから裏に線が引かれているので、そこを定規でカットするだけなのですが均等にカットしたつもりが、ヒラヒラを丸棒に巻き付けると、その仕事の丁寧さの度合いがよくわかり・・・、その太さがばらばら。「あらら・・・なんでこうなるの」（後日聞くとところによるとこう感じたのは私だけではなかったようでした。）

まあそんなところも初心者のご愛敬ですね。

続いて制作するミニ凧の作成の一番のポイントは、細いバルサ材の骨を紙に貼り、それを弓なりに反らせながら糸をかけ形をつくること。糸の処理がやっかいですが、アドバイスを受け皆黙々と作業。

でも、皆さん器用でなんなくこなしています。まとい同様かわいいけれど凛々しい凧が完成！

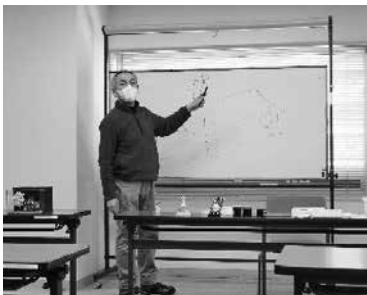
凧の絵柄も用意していただいた4種類の中から各々好きなものを選ぶことができました。

理屈抜きで手を動かして何かを作ることは楽しいことでした。まといを振った時の形は「末広がり」で縁起がよく、ほかの江戸の火消し道具にも、縁起物としての意味合いが一つひとつに込められているのだそうです。

時代背景など渡部さんに教えてもらいながらの体験は心に残るものになりました。あたりまえの事がなかなかできない状況下での学習会でしたが、ソーシャルディスタンスを意識しながら、最後までけがもなく無事に行うことができました。また、今年の雪の多さは異常な程で、除雪作業が日々続く中での開催は、日常生活から一時のリフレッシュと癒しをもらうことが出来ました。

青年部から草薙委員長にも参加いただき感謝です。

<纏を振ってコロナ退散～！>



制作過程の一コマ



ミニ纏・凧作品ギャラリー



秋田県の中の湯沢市 2021 『まちづくり温故知新』

湯沢雄勝建築士会 由 利 靖

【この度の静岡県熱海市における土石流災害での被災者の方々に心からお見舞い申し上げます。】

■秋田県と湯沢市と私の今昔

私の生まれ育った湯沢市は……、などとあらためてお話をしようにも自身の経験や感じた事でしかお伝えする事しかできない訳ですが、一つだけ自信を持って言える事は『居心地がいい』という点なのでしょう。かなり当たり前に聞こえるフレーズですが、結果論として偶然にも運良く生まれた場所に居続ける事ができたという事でしょう。雑把に言えば枕が変われば寝られないタイプなのでしょう。必然的に昔のことを多く覚えていますし、近年の変化や経緯などを見聞きするたびに様々な思いで一喜一憂してみたり、これからの自分たちを含めた社会的雰囲気ワクワクやキツキツな気持ちがいっぱいになってみたりと。

この業界には平成5年からお世話になり、運良く無事に建築士の資格も授かり、公私ともに多くの方々のご都合を伺いながら、日々コツコツと何かを積み重ねております。当初から自分の仕事と資格について特殊性を自覚しながら努力を重ねておりますが、未だによろち歩きをしています。つくづく様々な多くの方々に育てられているなあ日々感じておりますが、『ひとづくりもまちづくり』も共通点が多く感じられる機会が体感的に増えてきました。歳を取ったなあと思いながら、私より先輩の方々は私の想像以上に色々な経験に基づき業務に携わっているかと思うと本当に感服いたします。

約10年前の湯沢駅西口



現在の湯沢駅西口

私は偶然にも建築士ですが、一個人として、一市民として湯沢市に暮らし続けて『良い面と窮屈な面』をそれなりに感じています。たぶん自分の場合は『いつも通り』が可で、『急激な変化』が窮屈に感じる事なのかなと思われます。つい先日までは新しいモノ好きな私でしたが、温故知新を意識するようになり『モノ』の歴史を鑑みるクセがついてきて、新しい古いに関係なく『カタチや造作』について探究するように振舞う事が増えました。それと同じくして『人の気持ちや想い入れ』にも、なお一層目を向けるようになり、『その地に家を建てて住まう』という人の覚悟をどのようにまとめるかを意識する、という感情に行き着く訳です。な

どと、実はおそらく今までも無意識に考慮してきたのでしょう。そして、ひとの気持ちや想い入れは『まちづくり』にも同じことが言えるのでは？という思いも、漠然と感じていたものが確信に近づいてきたのかな？と思うようになりました。秋田県にも湯沢市にも私や地域住民の個人にも歴史があり、おののが未来を選択できるんだなあと。

■湯沢市の取組み『湯沢市コンパクトなまちづくり計画』

湯沢市では今後さらなる少子高齢化の進展が予測されており、全ての市民が安心安全かつ快適に暮らすことのできるコンパクトなまちづくりを推進するとともに、持続可能な地域社会の実現を目指し「立地適正化計画」を策定・公表しています。（湯沢市HPより）

とくに数年前には駅西側開発として駅舎の改築に伴い、東西通用路と西口ロータリーも新設しました。昔を知る私達にとっては『ドキドキワクワク都会的！』と歓喜したのを覚えています。さらにそこから20～30年来の都市計画道路である16m幅員『駅西通り』も開通致しました。今風で言うトコの『ワクワクしかない』と当時、地元近隣住民みんなで盛り上がりました。湯沢市では『人口に係る課題・土地利用・産業・道路等の都市施設・福祉子育て等の都市機能・公共交通・災害・財政』と、さまざまな面でまちづくり計画に取り組んでおり、自家用車に過度に頼ることなくそれらにアクセス可能なまちづくりや、人口密度と市民1人当たりの行政コスト、居住誘導区域、都市機能誘導区域などを鑑みて、全体の中央拠点として『駅周辺整備』を今もなお進めているようです。一市民としては本当に嬉しい気持ちになりますし、なにより湯沢市に従事する方々が湯沢市全体の心地よい未来のために頑張っている結果だと思うと、本当に感謝の気持ちと期待感でいっぱいでした。

■個人的期待と地域経済運営の合理性

そこで道路開通に伴い着工前より『どんな大通りになるかなあ？』『商業～福祉施設もいいなあ』『コンビニがあればいいなあ』『駅前温泉も面白い』など老若男女問わず、みんなが様々な期待や想いを込めて道路の完成を待ちわびました。特に私の住む駅西地区住民や各企業では大盛り上がりでした。その頃から『都市計画って素晴らしい！まちづくりって凄い！あ、私は建築士だ！』と、少なからず地域に貢献できることを感じた事を覚えています。

結局は道路の完成と同時に全国区の手先一流ハウスメーカーが宅地分譲を完工し、1年半で全て住宅が建ちました。数十年来の計画と期待と想い入れがすべて無にはなりましたが、数世帯の人口増加という事で良かったことかと思えます。造成会社にしてみれば道路～上下水道など県や市町村の税金でお膳立てしてもらう事で、土地建物の『商品』が『消費者』に還元されることは有意義な事かと思えます。

このような急激な変化はどこの都道府県でも市町村でも起こりうる事でしょう。ただ、そこに住む人たちの『気持ちや想い』とは？私以上に昔を知る方々にとっては、今の景色はどのように映るのかな？真剣に純粋に湯沢市の未来を考えて『構想～立案～検討～実行～』と従事・奮闘してきた方々にはどのように映るのかな？時々経済社会と個人の想いの乖離が私にとって窮屈に感じたりもします。



市役所へ通じる湯沢駅東口

特に、市政～行政に携わる方々は組織的に多方面から意見を集約しながら、かつ国や県との連携も図りながら膨大な時間を費やしている事かと想像します。そして『組織的に』とは言え、その方々一人ひとりも同じ湯沢市民として未来志向に夢や期待をもって『構想～立案～検討～実行～』を進めて来たのだと思います。もちろん地区の用途まで指定することは出来ない事ですが、なんとも言えないもどかしさを共有しております。



湯沢駅より東地区の市役所へ通じる市街地には『大町通り』『サンロード通り』『ジークブルガー通り』など何十年もの時間をかけて様々な立場の方々、様々な年齢の方々が試行錯誤を重ねて、今もなおゆっくりですが一歩ずつ前進・運営をしています。七夕絵灯ろう祭や大名行列、犬っこまつりなどの催しを考慮したまちづくりなど、本当に多くの方々の努力の積み重ねこそが『居心地の良い湯沢市づくり』に繋がってきた事に間違いはありません。

それでも世の中の流れは早くせわしく、時々昔の映画の『平成ぼんぼこ狸合戦』のラストシーンや『火垂るの墓』のラストシーンなどが思い浮かばれ、声の上げようのない憤りを感じています。湯沢市そのものの試行錯誤、積み重ねの今昔は地域住民がよくよく知っています。まちづくりの源泉である住まいづくりを、木も見ず林も見ずに歴史さえ鑑みる時間もない『故きを温めて新しきを知る』猶予もないのであれば、ぜひそっとしておいていただけたら幸いです。何かに翻弄され、流されるまちづくりは建築士である私にとっては何とも言いようがない想いが今後が続いていく気持ちです。それでも各自治区などは地域でコツコツ運営し『居心地の良い生活』を選択できる環境づくりを目指していけたらと思います。

令和3年8月

会 務 報 告

(令和3年1月～7月)

- | | | | | |
|----|-----|---|-----|--|
| 1月 | 13日 | ●連合会総務・企画委員会（WEB会議）へ、小原連合会総務委員出席 | 4日 | ●一級・二級・木造建築士定期講習
受講72名
於：秋田市文化会館 |
| | 19日 | ●連合会第3回正副会長会議（WEB会議）へ、淡路会長出席 | 11日 | ●連合会第4回総務・企画委員会（WEB会議）へ、小原連合会総務委員出席 |
| | 20日 | ●連合会第46回定例理事会（書面決議）へ、淡路会長出席 | 17日 | ●ストップ・ザ・温暖化あきた県民会議企画委員会へ、花田省エネ地域リーダー出席
於：秋田地方総合庁舎 |
| | 29日 | ●第2回既存住宅状況調査技術者講習会【更新講習】開催 受講者13名
於：秋田市文化会館 | 18日 | ●連合会第4回正副会長会議（WEB会議）へ、淡路会長出席 |
| 2月 | 3日 | ●令和2年度全国建築士会職員会議（WEB会議）へ、植田事務局長出席 | 19日 | ●連合会第47回定例理事会（書面決議）へ、淡路会長出席 |
| | 6日 | ●第1回女性委員会学習会及び意見交換会
於：アトリオンビル | 23日 | ●（一財）秋田県建築住宅センター評議員会へ、淡路会長出席
於：アトリオンビル |
| | 11日 | ●第49回秋田県工業系高校生徒による建築設計作品コンクール作品審査会へ、櫻庭星治理事出席
於：秋田拠点センターアルヴェ | 27日 | ●日本建築士会連合会東北ブロック会青年建築士連絡協議会第10回東北ブロック青年大会岩手大会へ、淡路会長、草薙青年委員長出席
於：岩手県 |
| | 13日 | ●第49回秋田県工業系高校生徒による建築設計作品コンクー表彰式へ、櫻庭星治理事出席
於：秋田拠点センターアルヴェ | 30日 | ●令和2年度第4回理事会
於：パークホテル |
| | 17日 | ●北東北ブロックオンライン会長懇親会（WEB会議）へ、淡路会長出席 | 4月 | 1日 |
| | 24日 | ●東北ブロック会長会議（WEB会議）へ、淡路会長、植田事務局長出席
●一級建築士免許登録オンライン申請システムに係る説明会（WEB会議）へ、植田事務局長出席 | 10日 | ●令和3年度第1回東北ブロック会女性委員会委員長会議（WEB会議）へ、松橋女性委員長出席 |
| 3月 | 2日 | ●木の建築賞打合せ（WEB会議）へ、植田事務局長、伊藤事務局次長出席 | 12日 | ●あきた大会第2回会場利用等基本事項企画検討会
於：センタース |
| | | | 20日 | ●連合会第8回女性委員会（WEB会議）へ、淡路会長出席 |
| | | | 21日 | ●連合会第7回コロナウィルス感染 |

		症対策特別委員会（WEB会議）へ、 淡路会長出席	験」実施 受験者143名 於：秋田県JAビル
5月	20日	●令和3年度会計監査 於：アトリオンビル	11日 ●令和3年 一級・木造建築士「学 科の試験」実施 受験者：一級 154名、木造1名 於：秋田県JAビル
	24日	●連合会総務・企画委員会（WEB 会議）へ、小原連合会総務委員出 席	20日 ●建築士定期講習 受講者78名 於：秋田市文化会館
		●連合会第9回女性委員会（WEB 会議）へ、淡路会長出席	27日 ●第1回総務委員会（WEB会議）
	31日	●令和3年度第1回理事会 於：パーティギャラリーイヤタカ	29日 ●第1回まちづくり委員会（WEB 会議）
6月	2日	●連合会建築士登録機関等連絡協議 会（WEB会議）へ、植田事務局 長出席	30日 ●第1回事業委員会 於：にぎわい交流館AU
		●連合会第5回正副会長会議（WEB 会議）へ、淡路会長出席	
	3日	●連合会第48回定例理事会（WEB 会議）へ、淡路会長出席	
	8日	●国土交通省東北地方整備局 公共 建築設計懇談会（WEB会議）へ、 淡路会長出席	
	10日	●連合会第8回コロナウィルス感染 症対策特別委員会（WEB会議）へ、 淡路会長出席	
	15日	●（一財）秋田県建築住宅センター 評議員会へ、淡路会長出席 於：アトリオンビル	
	22日	●（公社）日本建築士会連合会令和 3年度総会（WEB）へ、淡路会 長出席	
		●連合会第10回女性委員会（WEB 会議）へ、淡路会長出席	
	23日	●ミルハス説明会へ、植田事務局長 出席 於：秋田市文化会館	
	28日	●東北ブロック会 総会・第1回会 長会議（WEB会議）へ、淡路会長、 植田事務局長出席	
	30日	●令和3年度 定時会員総会 於：秋田キャッスルホテル	
7月	4日	●令和3年 二級建築士「学科の試	

令和3年1月～7月

地域会だより

○鹿角建築士会

- 4月27日 ・令和元年度、令和2年度会計監査
(於 事務局)
・第1回理事会(於 十和田市民センター)
1. 令和3年度総会の件
2. 令和3年度事業及び予算(案)
3. その他
- 5月24日 ・通常総会(於 十和田市民センター)
1. 令和元年度、令和2年度事業報告
及び収支決算承認の件
2. 令和3年度事業計画(案)及び収
支予算(案)承認の件
3. 任期満了に伴う役員改選の件
- 7月15日 ・第2回理事会(於 鹿角市交流センター)
1. 第63回全国大会広島大会について
2. 令和3年度の事業について
3. 第64回全国大会あきた大会の検討
事項について
4. その他

○大館・北秋田建築士会

- 3月13日 女性委員会
於 北地区コミュニティーセンター
・情報交換会、令和3年度総会
出席 5人
- 3月26日 「大館市新市庁舎」見学会
於 大館市新市庁舎 参加 39人
大館市新市庁舎見学会 懇親会
於 プラザ 杉の子 参加 16人
- 3月26日 大館歴史的建造物研究会
於 大館市長木公民館
・「麓家」「老犬神社」「田代地区・大館
西・南地区」調査報告書最終チェック
出席 9人

- 5月10日 三役会 於 建築士会事務局
・総会内容について 出席 5人
・大館・北秋田建築士会の理事会・総会
の開催について
- 5月14日 理事会 於 大館市上川沿公民館
・総会は書面表決で行う 出席 18人
・R2年度の事業報告・決算
・役員改選 ・今年度事業・予算について
・県表彰者推薦の件
・全国大会への参加希望者について
- 6月7日 令和3年度 第8回通常総会(書面表決)
・提出全議案承認 参加 48/87人



1 市庁舎見学会



2 大館東地区調査

14日 第1回大館歴史的建造物研究会

於 大館中央公民館

- ・「大館北・東地区調査」「乳安本社」「修理調査」について 参加 8人
- ・「桜櫓館工事写真集」「スキルアップ講習」について

25日 第2回大館歴史的建造物研究会

於 大館中央公民館

- ・「大館北・東地区調査」の地区割り・班構成について 参加 9人

7月16日 第1回 青年委員会

於 大館中央公民館

- ・新入会員の紹介 出席 5人
- ・令和3年度 総会

7月18日 大館歴史的建造物研究会

- ・「大館北・東地区調査」の実施 参加 10人

7月27日 第3回大館歴史的建造物研究会

於 大館中央公民館

- ・各調査日程の調整 出席 8人
- ・HMスキルアップ講座（10月23日）について
- ・「大館北地区調査」結果報告

○能代山本建築士会

4月13日 理事会 第1回理事会

（中田建設1階会議室）～10名

- ①令和3年度通常総会について
- ②その他

4月末日 総会 令和3年度通常総会 ⇒ 郵送による書面決議

- ①令和2年度事業報告
- ②令和2年度収支決算報告及び承認
- ③令和3年度事業計画（案）
- ④令和3年度収支予算（案）
- ⑤新役員選出
- ⑥その他

7月14日 親睦事業 親睦ゴルフコンペ

- ①コンペ（男鹿ゴルフクラブ）
- ～17名

②表彰式（能代市西通町 我が家）

～17名

○秋田中央建築士会

4月12日 令和3年度第1回役員会（於 センターズ）

4月16日 令和2年度会計収支決算監査

（於 御厨光琳）

4月22日 令和3年度第1回理事会

（於 アキタパークH）

5月25日 令和3年度第2回理事会、総会

（於 イヤタカ）



○由利建築士会

4月23日 三役会

三役会 （於 由利建築士会事務局）

- ・令和3年度総会の件
- ・令和3年度事業及び予算書（案）
- ・その他

4月23日 監査

会計監査 （於 由利建築士会事務局）

- ・令和2年度実施事業及び会計監査
- ・その他

5月1日 総会前理事会 （於 書面決議）

- ・総会案件決議要件（令和元年度事業報告及び収支決算承認の件）（令和2年度事業計画（案）及び収支予算書（案）の件）
- ・建築士大会由利大会
- ・全国建築士大会秋田大会

5月14日 第1回理事会

- (於 本荘由利地域職業訓練センター)
- ・総会決議案件について
- ・その他

出席者 14名

5月15日 総会

第8回通常総会 (於 書面決議)

- ・令和元年度事業報告及び収支決算承認の件
- ・令和2年度事業計画(案)及び収支予算書(案)決定の件

承認者41名

○仙北建築士会

4月16日 監査

令和2年度会計監査 4名出席
(於 大曲職業訓練センター)

4月16日 理事会

令和3年度 第1回常任理事会 6名出席
(於 大曲職業訓練センター)

1. 令和2年度事業報告案及び収支決算報告案
2. 令和3年度事業計画案及び収支予算案
3. 総会について
4. 第1回理事会について
5. 建築士会連合会表彰、伝統的技術者表彰について
6. 令和3年度県表彰者について
7. 県空き家住宅相談について
8. 大仙市空き家対策協議会について
9. その他

23日 理事会

令和3年度 第2回常任理事会、第1回理事会 12名出席
(於 花火伝統文化継承資料館 はなび・アム)

1. 令和2年度事業報告案及び収支決算報告案
2. 令和3年度事業計画案及び収支予算案
3. 総会について
4. 第1回理事会について
5. 建築士会連合会表彰、伝統的技術者表彰について

6. 令和3年度県表彰者について
7. 県空き家住宅相談について
8. 大仙市空き家対策協議会について
9. その他

6月4日 総会

令和3年度通常総会 37名出席
(グランドパレス川端)

1. 役員改選について
2. 令和2年度事業報告及び収支決算承認の件
3. 令和3年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
4. その他

○横手建築士会

1月27日 第3回理事会 14:00～15:00

(於 サンサン横手)

1. 会務報告
(県本部)
 - ・令和2年12月16日 第3回理事会報告
 - ・第63回全国大会 広島大会
令和3年11月20日
 - ・第64回全国大会 秋田大会
令和4年10月14日

2. 議題

- ①横手建築士会講習会について
令和3年2月24日
 - ・新型コロナウイルスの感染予防により中止
- ②令和3年度横手建築士会総会について
 - ・令和3年5月22日(土)
横手プラザホテル
 - ・総会役割分担について
- ③その他
 - ・令和4年度以降の担当地区確認
 - ・第4回理事会日程
令和3年4月21日(木)

4月21日 第4回理事会 14:00～16:00

(於 サンサン横手)

1. 会務報告
(県本部)
 - ・令和3年3月30日 理事会報告
 - ・令和3年度通常総会 6月30日
- (横手)
 - ・令和3年2月 講習会中止
 - ・令和3年度はコロナの状況で判断する

2. 議題

- ①令和3年度横手建築士会総会について
 - ・令和3年5月14日 (金)
 - 15:00～17:00
 - 横手プラザホテル
 - ・直前理事会 14:00～
 - 懇親会は中止
- ②令和2年度収支決算書について
令和3年度収支予算書(案)について
- ③県表彰他
 - ・表彰者承認
 - ・第1回理事会日程
 - 令和3年5月26日(木)
 - ・令和3年度会費集金について

5月14日 総会直前理事会 14:00～14:30
(於 横手プラザホテル)

1. 議題

- ・令和3年度横手建築士会総会について
- ・その他

5月14日 横手建築士会総会 15:00～15:45
(於 横手プラザホテル)

1. 議事

- ・令和2年度収支決算書について
- ・令和3年度収支予算書(案)について
- ・役員改正について

5月26日 第1回理事会 14:00～15:00
(於 サンサン横手)

1. 会務報告
(県本部)

- ・通常総会 令和3年6月30日
- ・令和3年5月31日
- 第1回理事会報告

(横手)

- ・横手建築士会総会 短縮開催

2. 議題

- ①役割分担について
- ②会費の徴収について
- ③定例理事会、主行事日程について
- ④その他
 - ・令和4年度横手建築士会総会担当地区について
 - ・退会者、入会者について

○湯沢雄勝建築士会

4月13日 執行役員会

令和3年度第1回執行役員会
(於 山脇組 15:00～17:00)

出席者 4名

4月23日 監査

令和2年度会計監査

(於 湯沢ロイヤルホテル

15:00～15:30)

出席者 4名

4月23日 理事会

令和3年第1回理事会

(於 湯沢ロイヤルホテル

15:30～17:00)

1. 令和2年度会務報告
2. 〃 収支決算会計監査報告
3. 役員改選
4. 令和3年度収支予算計画
5. 〃 事業計画
6. 〃 通常総会準備について

出席者 12名

5月28日 通常総会

令和3年度湯沢雄勝建築士会通常総会
(書面決議)

書面表決書提出者51名 賛成51名

議案その他、原案通り全員賛成で可決

建築士に対する 定期講習のお知らせ

1) 対面講習

平成20年11月28日施行の改正建築士法により、建築士事務所に所属するすべての建築士は、登録講習機関が行う定期講習を3年毎に受講することが義務付けられました。

建築士事務所に所属する方で、平成30年度に建築士定期講習を修了した方及び平成30年度以前に建築士試験に合格し建築士として登録した方でまだ受講していない方は、令和3年度中に建築士定期講習を受講しなければなりません。

令和3年度の第4回目の講習（最後）となりますので該当する方は受講してください。

第4回定期講習（1E-04）

と き：令和4年3月2日（水）

ところ：秋田市文化会館

募集期間：令和3年11月18日から令和4年2月19日

登録講習機関 公益財団法人 建築技術教育普及センター

受付機関 （一社）秋田県建築士会 本部事務局

受講申込書を希望する方は各支部、本部まで電話かFAXで連絡をお願いします。

電話 018-827-3718 FAX 018-827-3873

2) 建築士定期講習 オンライン講習（動画方式）

今年度より、新たにオンライン講習（動画方式）が実施されております。

（公社）日本建築士会HPから申し込みが可能です。

【主な手順】

①オンラインで申し込み

②送付されたテキストを使用して、オンラインで受講する。

③各県の指定会場にて、修了考査のみを受ける

《終了考査：秋田県会場》

・オンライン講義（1E-A1） 秋田市文化会館 定員32名

令和3年12月8日（水）10：30～11：30

・オンライン講義（1E-A2） 秋田市文化会館 定員32名

令和3年12月8日（水）13：30～14：30

第64回建築士会全国大会あきた大会について

令和3年 広島大会中止！！

新型コロナウイルス感染拡大のため、今年11月20日（土）に開催を予定しておりました全国大会広島大会は中止が決定いたしました。

これにより、予定しておりました広島における「あきた大会PR活動」も、計画変更を余儀なくされることとなりました。代替え大会として、東京にて最小限の開催等も検討されておりますが、詳しい情報が入りましたら、皆様にお知らせいたします。

1年延期となったあきた大会の準備も残り期間1年余りとなり、いよいよ各種の詳細企画の検討に入っております。会場となるあきた芸術劇場ミルハスの先行予約の承認が7月21日に認められ、正式な周知活動が可能となっております。現在、急ピッチでポスター・リフレット等のデザイン系の企画を進めております。

記念講演については、皆様から寄せられた提案を検討し、「あきた発」であることを主眼に絞り込み作業を行っております。

エクスカージョンについては、各地域会が主体になることから数回の検討及び見直しによりコース及び内容を決定する予定です。

大会を成功裏に導くには、会員が一丸となって『おもてなし』の心を持って対応することが必要です。多くの会員に大会スタッフとして参加をいただき、秋田県建築士会の団結力を全国にお見せできればと考えております。

会員の皆様にも、今後は順次ご協力をお願いいたしますので、よろしくお願いいたします。

（公社）日本建築士会連合会総務・企画委員会の報告について

—全国大会広島大会現地開催断念の審議等—

（公社）日本建築士会連合会総務・企画委員会委員
（一社）秋田県建築士会 理事 小 原 正 明

総務・企画委員会は連合会の施策全般を所掌しており、その結果は理事会承認後、会誌「建築士」に掲載されます。昨年度以降の審議内容のうち、特筆すべき事項を報告します。

この一年は全てWeb会議で開催され、ICTの活用や全国大会広島大会の開催方法・助成の検討、現地開催断念等を審議しました。まさに、コロナに翻弄された一年でした。

1 2年度第1回委員会（R2.8.31）「大阪府建築士会の提案等」

- ・大阪府建築士会から、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う①全国の建築士会への助成、会費減免等の

支援、②全国の建築士会会員の影響状況の把握について、連合会へ要請があった。

- ・財政面は長期的な課題と捉えたとの東北ブロックとしての意見を述べたほか、全国の建築士会へのICT活用の支援、一般向けのコロナ関連施策を検討するよう、連合会に要望した。
- ・連合会で、コロナに伴う施策案の作成や影響把握に努めることとした。

2 2年度第2回委員会（R2.9.15）「連合会の追加施策等」

- ・前回の要望が功を奏してか、本年度限定で「ICT活用取組助成制度」が創設され、一建築士会当たり上限25万円で、年度内に執行することとした。
- ・一般向けのコロナ対策として、建築士による「建築物の換気診断」を行うこととし、連合会でマニュアルを作成し、オンライン講習を実施することとした。
- ⇒ 令和3年4月26日、「換気アドバイス講習会（WEBセミナー）」の申込受付を開始した。

3 2年度第3回委員会（R2.10.14）「WEB基礎講習会、広島大会アンケート等」

- ・連合会情報部会で秋田県建築士会の協力を得て「WEB基礎講習会」を開催し、その結果を全国の建築士会に波及させることとした。当会独自で開催する必要はなくなった。
- ⇒ 令和2年11月26日、秋田市で「WEB基礎講習会」を開催した。参加者27名。
- ・コロナが開催方式等に影響を及ぼすことから、広島大会に関するアンケート調査を実施し、全国の建築士会の意向を把握することとした。

4 2年度第4回委員会（R3.1.13）「R3年度予算・事業、広島大会予算、あきた大会等」

- ・令和3年度予算および事業計画案を審議した。予算は9,643,000円の赤字。
- 基本施策に「感染症対策、ICT活用事業の推進」を、事業計画に「リフォーム・換気診断等建築士の養成、ICT講習の推進、感染症対策、災害対応等」を追加した。
- ・広島大会予算案を審議。全国の建築士会アンケート結果から参加者数、大会参加費減を想定。
- WEB併用方式による映像配信費が増額。収入減、支出増を連合会交付金やブロック会負担金を増額せず、現地大会参加費の増額やWEB参加費で充当する方針。
- ・「あきた大会」を、令和4年10月14日に「あきた芸術劇場」を主会場に開催することを報告した。

5 2年度第5回委員会（R3.3.11）「広島大会連合会交付金増額、木の建築賞等」

- ・広島大会のセッション会場数を変更することとした（当初10会場を8会場に）。
- 日頃の活動成果の発表が全国大会の大きな目的との観点から、セッションは重要であり、連合会として可能な限り行う方針であることを確認した。
- ・広島県建築士会から連合会交付金の増額要請があり、継続協議することとした。第2回アンケート結果から、種々のコロナ対策を講じつつ、これまでの全国大会と同等の予算規模で実施することは、広島県建築士会の方々のみの努力では困難であるため。
- ・コロナ禍でセッション数を減らさない現地開催は困難であり、あきた大会も同様であることから、

現地開催をWEBに切替えた連合会事業経費を充填する工夫検討を提案した。

- ・昨年度、延期した「第16回木の建築賞」を開催することとした。賞の所管は総務・企画委員会であり、木のまちづくり部会と連携を図るものであることを確認した。
- ・昨年度、延期した「第11回まちづくり賞」、中止した「第12回高校生の建築甲子園」について、コロナ禍においてもICT活用により可能と判断し、開催することとした。

6 2年度第6回委員会（R3.4.1）「広島大会連合会交付金の増額・大会参加費等」

- ・連合会からの広島大会交付金額1,790万円を承認した（640万円増額）。
- ・広島大会の「現地参加費6千円、WEB参加費2千円」を承認した。
- ・委員長から、WEB併用は来年の「あきた大会」以降も続くことから、費用対効果や人件費の抑制方法など、広島大会のデータを次回の大会に活かしてもらいたいとの要請があった。
- ・WEB活用定着の中で、交付金増額が今回限りであることから、今後、セッション会場数を絞り経費節減に努めるなど、全国大会の開催内容を見直す必要があるとの意見を述べた。

7 2年度第7回委員会（R3.5.24）「令和2年度事業報告、広島大会の開催等」

- ・事業計画に「発注者支援関連等建築士の養成」、会誌に「発注者支援できる建築士会」を「自ら目指す目標像」に掲げており、取組みを進めて欲しいとの意見を述べた。
- ・連合会から、コロナ禍により特段の取組みはないが、大変大事な事業であることから、国交省の「ピュア型ガイドライン」を参考に三会で取り組みたいとの回答があった。
- ・広島大会は感染により初めて、WEBを併用する。会場は感染予防と拡大対策を講じる。大交流会は国や県の方針に従い、中止の可能性があると説明があった。

8 3年度第1回委員会（R3.8.19）「全国大会広島大会の現地開催断念等」

【広島県建築士会からの説明（コロナ禍による現地開催断念）】

- ・運営方法については、全国アンケートを基に、要望の多かった現地開催とWEB参加の併用で実施することとし、連合会理事会で承認を頂いた。開催は、11月頃にはワクチン接種等によりコロナ禍が好転しているという見込みの上に立っていた。
- ・8月初旬に広島県はまん延防止措置を政府に要請しており、緊急事態宣言は6都府県、まん延防止措置は13道府県に発出され、感染者数が日に日に増加している。開催までに感染が収束に至るという想定は難しい。このまま開催準備を進めても、直前に大会を中止せざるを得なくなる。
- ・直前で完全WEB方式への切替えは困難。実行委員会が無観客による大会運営も議論したが、スタッフのやりがいのない大会は開催すべきではないとの意見が出された。
- ・現地参加者や大会スタッフのコロナ感染に対する懸念を払しょくできないことから広島大会の開催は断念せざるを得ない。ご理解のほどよろしくお願いする。

【決定事項】

- ①広島県を会場とした今年度の全国大会広島大会を中止する。（広島に集まらない）

- ②全国大会の日程を変えずに、東京を会場にWEBを活用し開催する。(東京で開催する)
- ③開催内容について、広島建築士会に協力を仰ぎ、次回の総務・企画委員会で報告する。

◆令和3年度 秋田県建築士会大会由利大会について◆

今年度で開催予定の「令和3年（一社）秋田県建築士会大会由利大会」について、5月24日の理事会で協議した結果、コロナ渦の影響はまだ収まらないとの判断で延期とすることとなりました。これにより、由利大会は令和5年度の開催となりました。

- ・令和4年度 あきた大会につき開催しない
- ・令和5年度 由利大会
- ・令和6年度 湯沢雄勝大会 以下、これまでの順番となります。

◆令和2年度 秋田県木造住宅耐震診断支援業務概要について◆

令和2年度の業務概要は、以下のとおりです。

1. 受託状況

14市町村と委託契約締結。27戸（前年34戸）の診断を受託

- | | | | |
|----------|-----------|----------|----------|
| ・鹿角市 2戸 | ・大館市 3戸 | ・北秋田市 0戸 | ・小坂町 1戸 |
| ・能代市 0戸 | ・男鹿市 2戸 | ・五城目町 1戸 | ・八郎潟町 1戸 |
| ・秋田市 5戸※ | ・由利本荘市 0戸 | ・大仙市 2戸 | ・横手市 5戸 |
| ・美郷町 3戸 | ・仙北市 2戸 | ※内、1戸中止 | |

2. 診断に要した日数、及び派遣者数 ※受諾から診断日まで

- | | | |
|-----------|-------------|--------------|
| ・最短期間 7日 | ・最長 約64日 | ※平均 約22.8日程度 |
| ・派遣者数 20名 | ※6名が2件以上を実施 | |

3. 診断結果

- | | | |
|------------|------------|------------|
| ・最高評点 1.28 | ・最低評点 0.03 | ※平均評点 0.26 |
|------------|------------|------------|

4. 地域別の登録診断士数

○登録診断士数 計54名

- | | | |
|----------|-----------|----------|
| ・鹿角 3名 | ・大館北秋田 8名 | ・能代山本 6名 |
| ・秋田中央 8名 | ・由利 3名 | |
| ・仙北 13名 | ・横手 11名 | ・湯沢雄勝 2名 |

5. 今年度の取組み

- ・事務局業務の効率化により、令和元年10月以降の委託額を変更せずに業務を実施している。

6. その他

○事例紹介

- ・特に苦慮する物件は、見当たらない。

○年度途中の変更点

- ・特になし。

○今後の課題

- ・現在登録されている診断士の人数において地域的なばらつきがあり、多少の増員することが望ましい。

◆講習会等、建築士登録のオンライン化について◆

コロナウィルス感染防止の観点から、押印の廃止や手続きや講習会等のオンライン化が進んであります。主な内容をお知らせいたします。

1) 一級建築士登録

- ・免許申請、各種変更手続き、再交付等について

(公社) 日本建築士会連合会HPから、オンラインシステムにて手続きが可能です。

対面及び郵送による手続きについて、秋田県建築士会にてこれまで通り実施しております。

2) 二級・木造建築士登録

- ・免許申請、各種変更手続き、再交付等について

対面及び郵送による手続きについて、秋田県建築士会にてこれまで通り実施しております。

3) 建築士定期講習

対面講習については、これまで通り年4回（北秋田市1回、秋田市2回、大仙市1回）開催いたします。

新たにオンライン講習（動画方式）が実施されております。(公社) 日本建築士会連合会HPから申し込みが可能です。

【主な手順】

- ①オンラインで申し込み
- ②送付されたテキストを使用して、オンラインで受講する。
- ③各県の指定会場にて、修了考査のみを受ける

《令和3年度 秋田県会場》

・令和3年12月8日（水） 秋田市文化会館 定員あり

4) 既存住宅状況調査技術者講習会

今年度より、『更新講習』はオンライン講習が実施されております。

【主な手順】

④オンラインで申し込み（(公社)日本建築士会連合会HPより）

⑤送付されたテキストを使用して、オンラインで受講・考査を行う。

また、対面講習については、下記の日程となります。

（詳しくは、秋田県建築士会HPをご覧ください）

《開催予定》

○令和4年2月3日（木）『新規講習（DVD）』

会 場：秋田市文化会館 4階 第6会議室

○令和4年1月17日（木）『更新講習（DVD）』

会 場：秋田市文化会館 4階 第6会議室

編集後記

湯沢雄勝建築士会 山脇成吉

世捨て人の珈琲ブレイク…

昨今地球温暖化の影響を受け毎年のように猛暑の夏が続いています。私の幼少時代夏休みに 30℃ 以上の日は数えるくらいしかなく、それこそエアコン等の高級家電はお金持ちの家にはありませんでしたし、日中扇風機でも十分対応できる温度でした。かき氷やサイダーなどで癒され、夜ともなれば蚊取り線香を焚いて窓を開け蚊帳をつっていましたね。

今でいう熱中症という言葉は当時では日射病と言われていたようですが、それこそ炎天下での作業中倒れたという事例は私の周りではあまり聞いたこともありませんでした。

ゲリラ豪雨という亜熱帯地域的な最近の気象も線状降水帯となると災害レベルになるため油断出来ません。九州地方など毎年のように観測記録を更新するような豪雨災害に襲われるようになってしまいました。ニュースを見るたび胸が痛みますが、我が故郷湯沢では降雨が続いても河川が氾濫することもなく土砂災害には至らず、また地震が起きても津波の心配がいらぬのは当然としても建物が倒壊した事例もありませんし大火事が起きたこともありません… いわば災害知らずの街といえますから高齢者にはある意味住みやすい街と言えるのではないのでしょうか？

ただし冬季の降雪は別ですが… 然るに毎年のことゆえ慣れてしまうというか年中行事の一つというか今年のような豪雪であれ春は必ず来ますし、難儀した記憶もすぐに薄れてしまいますから。

現在日本及び世界を脅かしているコロナウィルスについてですが、2019 年のクルーズ船内による感染から早三年～今年は延期されたオリンピックも開

催されましたが一向に終息しないどころか感染者はますます増加する一方となり、以前は対岸の火事のようにだった我が秋田県内でも急速に蔓延してきているようです。

これはまずいかも…と感じ始めたのはコメディアン志村けん氏が亡くなったころからでしょうか？

私は既に二回ワクチン接種しましたが、当初は抗体ができるため九割以上感染しないという効力がありアメリカ、イギリスでも接種後はマスクなしでも外出、会食等が認められていたものの、デルタ変異株が発生してからはワクチン接種後であろうとも感染することが分かっており（接種後感染では重篤化することはないようですが…）まだまだ油断できない状況であります。

因みに当社では原則、緊急事態宣言都市への往來を禁じてはいるものの、家族等の帰郷により接触した場合は一週間の自宅自粛を課しており、自粛期間後 PCR 検査をして陰性の場合のみ出社できることを義務づけています。

昨年延期になった「建築士会全国大会 広島大会」の会場である広島市にコロナ緊急事態宣言が発令されてしまいました。それらの事態を踏まえて、広島での開催が中止という、予想だにできなかった結末を迎えてしまったことを聞かされ、延期期間も含め何年も開催準備に奔走された広島の建築士会会員様の無念さ悔しさは如何ばかりなものでしょうか…

正にコロナ恐るべし…とはいえ来年はいよいよ当県で全国大会が行われるわけですが、その頃には全国民にワクチンが行き渡りコロナ感染災害も終息していることを願うばかりです。

第64回建築士会全国大会あきた大会 概要

- テーマ：『建築』で挑戦！ 郷土のこれから ～け、け、け、の秋田で まずかだれ～
- 会場：あきた芸術劇場ミルハス（秋田市千秋明徳町2-52）
- 期 日：令和4年10月14日（金）
- 主 催：公益社団法人 日本建築士会連合会
- 共 催：建築士会東北ブロック会
- 主 管：一般社団法人 秋田県建築士会
- 後 援：（予定）国土交通省、秋田県、秋田市、他

あきた大会の主なスケジュール

10月13日（木） 全国大会前日

- 13:30～14:30 記者会見（会場：秋田キャッスルホテル）
- 15:00～17:00 連合会理事・士会長合同会議（会場：秋田キャッスルホテル）
全国建築士フォーラム（会場：秋田市にぎわい交流館 展示ホール）
全国HMネットワーク協議会総会（会場：秋田にぎわい交流館 多目的ホール）
- 17:30～19:00 歓迎レセプション（会場：秋田キャッスルホテル）

10月14日（金） 全国大会（会場：主会場 あきた芸術劇場）

- 08:30～15:00 総合受付（場所：あきた芸術劇場）
- 09:00～14:30 各種セッション ※9～10 プログラム
（会場：あきた芸術劇場、秋田市にぎわい交流館、アトリオン他）
- 09:00～16:30 秋田県物産展・飲食ブース（会場：にぎわい広場）
- 10:00～15:00 情報発信セッション《パネル展示》（会場：多目的スペース）
- 10:00～17:00 企業展示ブース（会場：エントランスホール）
- 13:00～14:30 記念講演（会場：中ホール）
- 15:00～17:00 大会式典（会場：大ホール・中ホール）
- 18:00～ 大交流会（会場：秋田キャッスルホテル 放光の間）

10月15日（土） エクスカーション

- エクスカーション（地域交流見学会）
各種コース ※7～8 プログラム



大会用のぼり旗デザイン



スタッフジャンパー

※各種のデザインは、変更となる場合があります。



あきた大会ポスターデザイン

※各種のデザインは、変更となる場合があります。

あきた建築士会ニュースNo.156（2021年9月号）

発行／一般社団法人秋田県建築士会 住所／〒010-0001 秋田市中通二丁目3-8 秋田アトリオンビル5階（一財）秋田県建築住宅センター内 電話／018-827-3718
編集／一般社団法人秋田県建築士会事務局 発行日／令和3年9月24日 印刷／秋田協同印刷株式会社